

# コピー本作成支援ツール 自動面付け“無骨丸”

## 操作説明書

### はじめに

当ツールは、ファイル名が連番になっている画像ファイルを製本用に面付けを行うことを目的としたツールです。

Java の練習も兼ねて作ったもので、エラー処理等ほとんど行っていません。さらに言えば、やっぱり Java は触りたくないという結論に達したため、機能追加はおろかバグ取りもあまりしたくないところです。

Jar ファイルは解凍すればソースが出てくるので、興味がありましたら御覧ください。なんなら自分で修正・機能追加も可能です。

### 起動するまで

良くも悪くも Java 製ですので、Java の実行環境さえあれば Windows,Mac,Linux 等プラットフォームを選ばずに動作するはずです。（当方、Windows7 ,MacOSX 上での動作を確認しました。いずれも Java Version 8 Update131 です。）当ツールが起動しない場合は、Java の環境に何らかの問題が無いかを確認いただきたいと思います。

本体ファイル Mentuke.jar を開いていただくと、画面が起動します。

# 基本的な使い方

画面

コピー本作成支援ツール 自動面付 "無骨丸"

順序自動計算機能

中綴じ 右綴じ ページ数 4

オプション 全ページ 計算開始

順序

ByP2,1,4,3,2

固定名称 出力形式 png 両面

Images : ./Import -> ./Export 出力

本ツールの主な機能は、順序の入力内を書いてある順序に従って、本体と同じフォルダにある[Import]フォルダ内画像ファイルを結合し[Export]フォルダに書き出すというものです。不親切なので、入力元・出力先は固定となっています。

では、上にある順序自動計算機能は何かといいますと、中綴じや平綴じなど、あらかじめ決められた出力形式であれば自動で順序を計算し、順序 BOX 内に入れてくれるものです。一般的な使い方であれば、これだけで事足りるかと思います。

綴じ種別

コピー本作成支援ツール 自動面付 "無骨丸"

順序自動計算機能

中綴じ 右綴じ ページ数 4

平綴じ 袋綴じ ダブル中綴じ ダブル平綴じ ダブル袋綴じ 同二面 同四面 組綴ぎ

計算開始

出力形式 png 両面

Images : ./Import -> ./Export 出力

中綴じはまあご存知のことかと思われますので割愛します。

平綴じ、袋綴じについてですが、ここでは平綴じは一枚両面印刷4ページのもの、袋綴じは片面印刷2ページのものだと考えていただいて構いません。

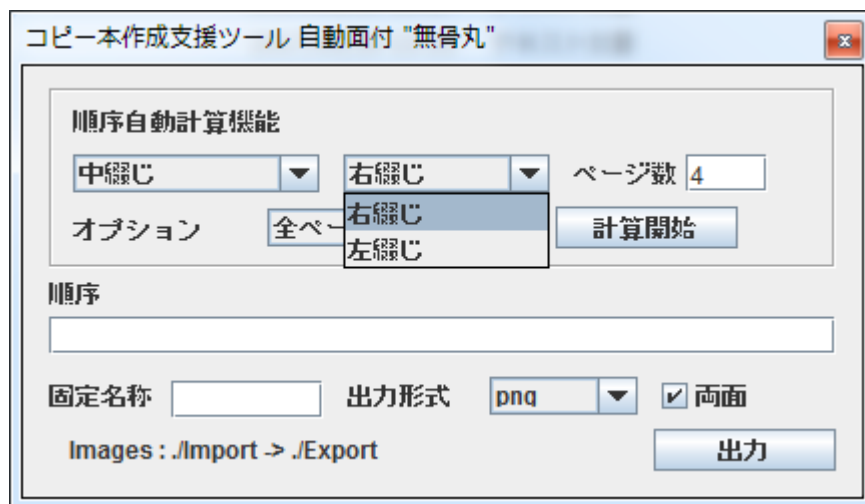
“ダブル”とついているものは、同じものを上下に2つ並べたもの。つまり縦の紙に印刷

すると1セット二冊作れるといった便利機能です。当然裁断は必要となります。

同二面、同四面は、同じページを一枚に2, 4枚並べただけのものです。折らない平綴じには有効かもしれません。

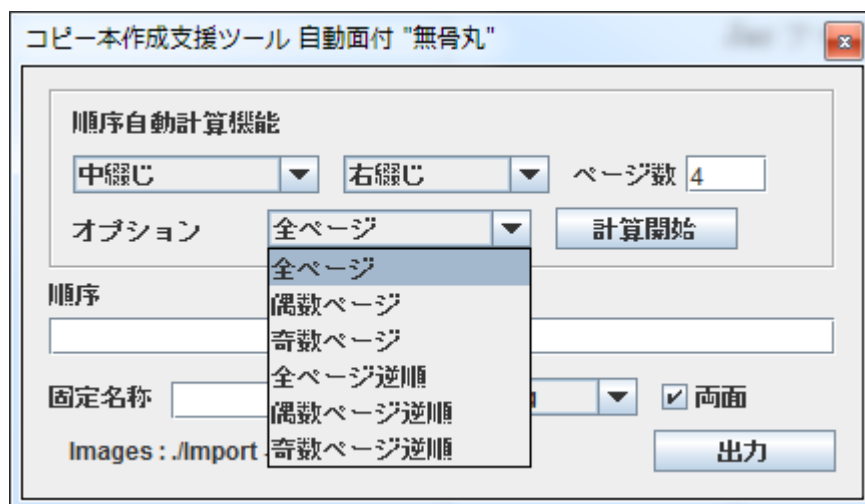
組継ぎはそれほどメジャーではない上に、わりと複雑なので、気になったら調べていただければと思います。

### 綴じ方向



表示を表に持って、背が右に来るか、左に来るかです。

### オプション



オプションというのもざっくりとした表現ですが、印刷用ですね。

片面ずつしか印刷できないプリンターを使う時にもしかしたらお世話になるかもしれません。

特に中綴じの場合は印刷順序が逆になってしまうと並べなおしてから綴じることになり、面倒くさいですからね。

偶数のみ・奇数のみを選択しても出力したファイル名は構わず連番でつけてしまうので、この機能を利用する際は固定名称を変更する等行ったほうが良いでしょう。

#### それ以外

**【ページ数】**：全体のページ数を入れて下さい。中綴じ・平綴じ・組継ぎは4の倍数、袋綴じは2の倍数にしてください。そうでない場合期待した並び方にはならないと思いますが、不親切なので注意もしてられません。

**【計算開始】**：設定にしたがって順序BOXに計算結果を入れます。

---

**【固定名称】**：出力するファイル名の頭に挿入されます。

**【出力形式】**：現状ではpng,jpg,bmpが選択できます。Java的には、ファイル名から自動で判断して出力してくれるらしいので、それに任せています。Tiffは確か対応していなかったと思うので入れていません。

**【両面】**：名前だけの問題なのですが、両面を選択した場合は紙の番号+表裏の判別(a,b)となります。デフォルトで選択されているので、袋綴じ等行う際は注意して下さい。

**【出力】**：クリックしたら確認ダイアログが出ます。実行完了したら一応完了した旨が報告されますが、失敗した際は何も言われません。処理中はフォームをいじれなくなるため、出力形式等触ってみて、フォーム内が操作可能だったら失敗したと思って下さい。

#### 出力されるファイルについて

ファイルサイズは、結合後画像の一番左上に来る画像サイズを基準として縦横倍されます。

解像度(dpi等)はこのツール上ではいじれないので、おそらくOS固定のものとなります。どうしても必要な場合はdpiだけ変更するフリーソフトも存在すると思うので、そういったものをご利用下さい。

## 応用編

実は基本的な使い方だけでしたら、Windowsに限定されますが

Delphi製の拙作 コピー本作成支援ツール 1\_自動面付け

(<http://www.vector.co.jp/soft/winnt/art/se506388.html>)

の方がおそらく早いし便利です。

このツールの優れている点は下記3つの機能に集約されます。

1. マルチプラットフォーム対応
2. 自由な並び順、多面付け対応

### 3. 枠線機能

1 は割愛します。

#### 2. 自由な並び順、多面付け対応



ご覧のとおり、テキストなので、自分で入れた順番で並べ替えることができます。

[ByPM]は、一面に貼り付ける画像の枚数です。中綴じ等、普通は 2 枚なので ByP2 となります。折本等、一面に 8 枚、16 枚とか貼る場合には ByP8,ByP16 となります。

これは必ず先頭に入れてください。

その後は、ページです。これはゼロ埋めされている必要はありません。

ところで、次の順序を御覧ください。



なんじゃそれって感じかもしれませんが、これこそがこのツールの言うなればアイデンティティ的なものです。

ページ No の先頭に R を付けると、180 度回転した状態で出力されます。

### 3. 枠線機能

数字の横に | とか \_ とかついていきますね。これは枠線機能の指定フォーマットです。

- ・ 枠線左 : |ページ No
- ・ 枠線右 : ページ No|
- ・ 枠線上 : ^ページ No or ページ No^
- ・ 枠線下 : \_ページ No or ページ No\_

組継ぎや折本での切る部分や、中綴じの中心等に線を引いておくと便利だと思います。

上記の並び順ですと、出力されるデータは

6	8	7	9
10	11	4	5
13	12	3	2
14	15	16	1

こうなります。

決まった形であれば、テキストファイルに保存しておくと思いかと思います。

ページ数が流動的且つ法則に則っている場合は、連絡してもらえれば機能追加するかもしれません。

## 注意点

ファイル名はゼロ埋めされた連番！

例えば、1,2,3,4,5,6,7,8,9,10 という並びがあったとして、文字列順に並べ替えますと

1,10,2,3,4,5,6,7,8,9 になります。これを回避するためには、

01,02,03,04,05,06,07,08,09,10

としていただかねばなりません。

袋綴じは2の倍数！平綴じ・中綴じ・組継ぎは4の倍数！

このツール以外ではちゃんと警告とか出すんですが、これはそうでもないつくりなんです。

解像度は固定！

Java にも一応そのような機能があるようなないような感じはありましたが気力切れです。

動作未保証！

バグ対応は一応したいと思いますが、当方初心者につき対応できるとは限りません。

機能追加の要望は一応聞くだけ聞きます。

以上